

TES会中部支部 第130回クレーム事例勉強会

検討年月日	2018/10/19		Bグループ						
品名(拡大写真)	女児ピンク色タンクトップ								
	組成	取 扱 い 絵 表 示	103	201	301	401	501	601	
	ポリエステル 65%		104	202	302	402	502	602	
			105		303	403		603	
	綿 35%		106		304			604	
			107						
	ネット			あて布					
	無蛍光 中性		142. 200. 300. 445. 510. 611. 711						
申し出クレーム内容	2回着用後、洗濯したら刺繍周りが破れた								
クリーニング処理法	家庭用洗濯機にて水洗い処理後、吊干し乾燥								
グループ検討内容	・原因はサガラ刺繍の周り(＝チェーンステッチ)を縫った時に生地を切ってしまったため。また刺繍(＝ループステッチ)の箇所でも地糸切れが起こっているようなので、刺繍の針の太さ、運針数、速度などが原因で地糸を切ったことが考えられる 【確認事項】 まず仕様の確認。ジュニア用タンクトップで薄い天竺編みの生地に直にサガラ刺繍を打った仕様。裏には芯が貼ってある 【注意すべき点・対策】 ・生地と刺繍糸の相性を確認する。(生地・芯の厚さ、刺繍糸・針の太さなど)多針の刺繍は生地に沢山穴を空けることになり、生地強度は弱くなっているため破裂強度試験等を行い、刺繍を打つ前の生地と加工後のとを比較する ・着用・繰り返し洗濯で強度確認を行う ・さらに企画提案として、見え方は変わってくるものの、直に刺繍を打つことを避けてサガラ刺繍をフェルト上に加工をしてワッペンにし、ワッペンの 縁を地縫いする仕様に変更する								
検査機関検討内容	観察:刺繍は製品に縫い込まれているものである。破損箇所は編目が切断または解けている様に見える。破損箇所以外にも何ヶ所か編目の異常が確認できる。刺繍の糸は編目に対して太い糸が使用されている。 推測:①刺繍に使用された針や糸によって身生地が傷つき破損した。②刺繍では破損していなかったが、編目の強度が弱い状態であったため、着用や洗濯の力によって破損した。 以上のことから、刺繍によって編目が破損した、もしくは破損しやすい状態であったために着用や洗濯によって現状の状態になったものと推測される。 原因:身生地の編目に対して、使用された刺繍糸の太さが不適当。 再現試験:L1096破裂試験(刺繍本体,周辺の身生地など耐久性を確認)								

